る P T A 有 志 が

コ

イケ

# うふの自然だより

2016. 11

http://chofu-kankyo-shimin.org

コイケ。 さかなポストの山 これを魚が棲めるような環境 で完成させた。 全面改修工事が始まった。 希望を受け、PTA有志による にしてほしいと山中前校長の 程度の放置された池があり、 調 民会議のメンバ イザー の学校代表) をはじめとす 小PTA会長 和 小 -に迎え、 元々深さが10センチ 0) 小さな池。 ちょうふ環境 0) 磯 1 . 崎氏をアド 年がかり 邉氏 である調 通称コ お もらおうと頑張っている。

を放し、 除をし、 ポーターズの名称で、 に育つ生き物に関心を持って 野川で獲れた生き物 少しでも野川やそこ 毎月掃

人満足し

ながら使っていない。 おくにはやはり酸素が足りな 置もあるがコイなどを入れて れも今は濁りがあるため残念 手漕ぎ式の井戸もあるが、 いとのこと。 池にはポンプでの水循環装 また池の横には

、ほどの子ども達が楽しんだ。 み 9 月にはココイケで初め 「マスのつかみどり」 1 回 15 人づつ延べ100 が行 ての

やミゾソ

花 バ

も見 などの

る楽

場

なる」という思い。 で炭火で焼いて食 身にさばかせ、 捕ったマスは子ども自 おおはしゃぎで ない子ども達、 んな大人の下心を知ら た。これは「食育にも その みんな



流の水を流す。明日までには淀みも かなり改善されるだろう。

作業は終了。

人でも多くの親

子

たココイケに入れて

今

 $\exists$ 

ブナ等は、

きれ

いにな

モ

ツゴ・タモロコ・

ギン

くという。

(レポート NK)

メンバーの募集を続けて

たい、と今後もPTAで

0)

活動を体験してもら



スコップで小さな流路を作って、本 左岸には水量が多かった時にできた淀み が取り残され濁っていた。

エビ・アメリカザリガニ・れたシナヌマエビ・ヌカ 当 たがそれでも数 つ たため 日 は 肌 早めにきり 寒く水 千匹 温 Ł 採 あ 低

後から キショウ、 底のゴミ拾 ·リソバ 小の 0) れ込んで 10 ように 月活動 南あ は 野 野川で小魚採取と川に池の掃除をし、午 たり () 高水域にはシャ いるやや上 10 入間川支流が 22 はガマや ではい 流 調

捕れたモツ

和 流

シャクチリソバとホシアサガオ

# ギタデ (紅蓼) タデ科



Persicaria hydropiper

科の植物は北半球を中心に40属、 も自生している。 デの仲間が目に留まるが、 まで、タデの仲間が70種以上 000種もある大きなグルー 川敷など、いたるところでタ この季節になると畑や路傍 日本列島には海岸から高 タデ

のが多い。 ヌタデやヤナギタデを指したも き好き」という諺まで生まれる 文学にも登場し、「蓼食う虫も好 ほど身近な植物だが、 タデの仲間は萬葉の時代から 多くはイ

解毒効果もあることから魚料理 胃液の分泌を促し消化を助け、 蓼)と呼ばれ、平安朝の時代から 食欲をそそる働きがある。 香辛料として用いられており、 ピリッとした辛味は胃を刺激し デはホンタデ(本蓼)、マタデ(真 香辛料としてよく利用され、 葉や茎に辛味のあるヤナギタ の塩焼きにそのまま添える また

> た不織布の上に載せ、数日して ナギタデの1品種ベニタデとさ 生えスプラウト わせて「蓼酢」として用いられる。 ほ てみた。 発根したものを鉢上げして育て 刺身に添えられた芽蓼を濡らし 長したものは見たことがなく、 れているが、 刺身に添えられた黒紅色の芽 刻んだものを二杯酢と合 花が咲くほどに成 (sprout) はヤ

辛味があることから名付けられ 色の葉を付けた10㎝以上の長い き で、 は水辺に生える胡椒の意味で、 下垂させる。 花穂をヤナギタデと同じように 花は各節から数枚の小さな紅紫 に従いヤナギタデの葉よりも大 え、葉や茎は紅紫色で成長する ぎた頃からで、背丈も1mを超 タデ科の植物の多くは短日性 い巾5㎝ほどの緑色になる。 花が咲くのは秋も半ばを過 学名の hydropiper

# チョウ好きの観察記 旅する蝶 その④

譲

ラを見つけました。 山でアザミの蜜を吸うマーキングされたアサギマダ 5年前の2011年10月8日(土)高尾山系の景信 今回は、皆様ご存じの「アサギマダラ」の話です。

それで写真を大阪市立自 らった所、マークは「日 然史博物館で調べても ぱり解りませんでした。 を書いているのかさっ セ?、8・1」とあり何 マークには「日?、ハ

ており9月から11月に愛知、三重、 後景信山から西へ西へと移動したと思われます。長 日光から南南西へ130㎞を8日間で移動し、その アサギマダラだと判りました。このアサギマダラは、 8月1日に 日光市湯元スキー場で マークした雌の あり宇都宮市にお住まいの長谷川様が 2011年 年間2000頭を目標にマーキングをし ハセ川、8・1」で

> なったそうです。 高知の各県で遠くは与那国島で 再捕獲されている 例は無く、これが東京都の第一号の貴重な記録と そうです。東京都では再捕獲 (今回の写真) の事

補給しているアサギマダラを見つけました。後翅 の先が少し傷んでおりましたが 堂々とたっぷりア 日(木)、この日がポイント、即ち4年前と同じ日 に 緑地入口の「トネアザミ」で旅のエネルギーを さて入間町辺りの緑地の話です。 ました。日光からこの緑地 ザミの蜜を吸って飛び去り にかロマンを感じます。 に移動したのであれば、 昨年の10



年9月26・27日に草刈りが行われ崖線縁のトネア 度残っていますが陽当たりのよい株が無くなりま ザミが多数刈り取られました。まだ林内に5株程 態で保存する意義を 痛感しました。残念ですが 今 したので、今年のアサギマダラの旅が心配です。 ギーを補給しているとすれば、この緑地を自然状 サギマダラに 旅するエネル 国分寺崖線のアザミがア

葉の森で保全活動を行っている大村さん ばれる雑木林がつらなっており、日頃若 を尋ねる。このあたりは国分寺崖線と呼 を通り神代高校の角から若葉町の樹林地 もりのちず」を使っての散策 今回はちょうふ環境市民会議制作の 仙川駅前を出発、商店街を抜けて寺町

ることや、手入れの甲斐あって春にはキ が多くシラカシと合わせて0%ほどにな ンランが咲き誇ることなどを紹介。そこ 若葉町3丁目の緑地は他と比べてスギ

在感を示している。 から入間町の樹林に移動。 とスギが多いがマテバシイの大きな木が存 ここもシラカシ

保全作業をして

所だが「初めて知っ PRの必要性も感 もいて、まだまだ ては当たり前の場 (環境モニターNK) いる人たちにとっ た」という参加者

じられた。

環境モニターによる

仙川周辺の崖線緑地を巡る 10月15日(土)参加者20名

# 行った。林内に増殖し ができるほど作業を らなかったメンバーも一目でわかるよう 9月18日 (日) になってきて、引っ張りすぎて手にマメ きをおこなった。サネカズラがよくわか サネカズラの伐採と通路へのチップ撒 曇り一時雨 参加者7名

いて自然力に感激。 チップ内には、カブト めな伐採が必要である。 ているので今後もこま ムシの幼虫が10匹ほど



伐採、丸太階段の修理など。キャンプ場

北側のドングリの森については大きく

# 10月16日 (日) 晴れ 参加者9名

の植生に効果があることを期待したい。 グレーチングを確認し、キチジョウソウ ガの広場で行った。市が設置した坂上の 特に幼植物(木本と草本あり)と稚樹(木 ヤブミョウガ、 花はヤブタバコ、ミズヒキ、実はナキリスゲ、 きは現場で確認することし、7月同様シャ 本のみ)の違いについて、わからないと か所を実施。新たな調査の分類方法、 方形枠調査4か所と10m四方植生調査 ムラサキシキブ、マンリョウ、 センリョウ、チヂミザサ、 カラスノゴマ、ハナタデ ミズヒキ、ヤマノイモ



不思議な形の木発見

に咲くてヤランは春と秋



樹林見回り



# 10月8日 (土) 雨 9月17日 (土) 雨 た点を挙げていった。 はどんな手入れをしたらよいか、 雨のため作業中止 東樹林については枝おろしや枯れ木の 参加者9名

雨の カタツムリ

9月4日 (日)

曇りのち晴れ

は小雨だったため樹林内を見回り、 今日も雨。このところ雨続きだが、朝 気づい 今後

竹2本伐採。六別坂落葉かき。全域でゴ

作業は、第1緑地でコンポスト柵補修

が蒸し暑い

直前に雨があがった

参加者6名

やマキ割り、カマドを使っての竹炭つく 生徒にも何か参加してもらえるようなこ りなど。またお隣に位置する晃華学園の たい、と色々な希望が出た。 とができるといい、PRの方法も工夫し て野草園内の管理小屋へ避難させてもら なった木の根回しと移植。 し合い。子ども達に呼びかけ、丸太切り い、今後のイベントでやりたいことの話 その後雨は本降りとなり、のきを求め (鍜治)





# 10月2日 (日) 前半の作業は、第1緑地で大量のハン 晴れ 参加者9名

観点から注視している。(NOK) 柵補修。六別坂落葉かき。全域でゴミ拾い 越境している草木の除去。 ガー片付け(カラスの巣?)、コンポスト 造成建築計画の進行を森の保全と景観の なお、六別坂をはさんだ隣地の住宅地 後半は、第2緑地でササ刈り、 隣地に



隣地にかかる樹木伐採



カマキリ



た。

(石原)

10月23日(日) 晴れ 参加者10名

# 見られまし 例年より多く ヒガンバナが すが、秋には が多かったで ネノカミソリ で夏にはキッ

秋のイベントに向けて草刈りをしまし

の温州ミカン 替えて2年目 育てました。 数を減らして な実を摘んで 夏にまだ小さ つけました。 も、沢山実を 現地に植え

# 参加者9名

# 9月25日 (日) 晴れ

持ち帰った栗をゆでて中身を漉し、生ク バナナやアイスクリームなどに添える て中身を取り出す手間も要らない栗ひろ み場のないほど、無数の栗があたり一面 に集まって見ると、栗の木の下は足の踏 ソースにしたとのこと。美味しそう! リームや蜂蜜を加えてペーストを作り、 いなんて初めてのことでした。ある人は に散らばっていました。イガを踏みつけ 今年は山栗が豊作でした。この日緑地

は西側の斜面 また、今年

それを数値的な観点から説明 を聞いてきましたが、 ら植物から見えてくる雑木林 ついて学びました。 前は座学。 一回は講師の根本淳さんか 「雑木林とは」という話 これまでも 今回

グラフで示されると 芽更新をする際の生育年数と 生調査を行うことも学びまし 同じ情報を共有するために植 萌芽再生力の相関関係などが ح り納得。 また、 なるほ 誰も

後は入間樹林に場所を移

## 内生物の種類や数の違い、 新が放棄された場合の雑木林 を繰り返していく場合と、 定期的に伐 萌 更 採 は

を受けました。

## H28 年度 第4回10月22日(土)

す。 率や被度を受講生の皆さんの合 師の主導となりましたが、植被 占めているかを調べていきま とに種類やどれくらいの面積を 恵みを体験します。 ました。 あっという間に講座は終了。 議で決めていきました。 寺自然広場 ミョウガとミョウガの見分け方 配された雨にもあわずほっとし や樹皮で樹木を見分ける事など 呉味深い話を間に挟みながら 初めての体験のため根本講 次回11月の講座は深大 (かに山) で、 ヤブ

測る高度計がない場合の目視で 計を使っての測定体験や樹高を 高さを4区分に分けその階層ご の樹高の図り方などを学んだ後 しての実技です。 樹林内で実際の植生調査。 照度計·硬度



11月5日 多摩川自然情報館でのリース作り 29人の子ども達に教えるこ とが出来ました

の文章を書いている11月2日、昼の

月24日の暑さがウソのようです。 こ 11月7日は立冬。 クズ採りをした10

る時期でもあります。

田んぼや雑木林はその恵みを楽しめ

講座スタッフ

中 原彰子

気温は13度。

まさに冬の気配を感じ

る日、これから立春までが冬と言わ

を開催予定です。

加ください。

詳細後日 是非ご

緑と公園課

042-481-7083

先の5団体の保全活動問合せは

でも「しめ縄作り講習会」

ちょうふ環境市民会議



線緑地で保全活動をしています

則毎月第4日曜に上石原布田崖

11/27 (日) 10:00 ~ 12:00

12月の活動はお休みです。 秋のイベント「リース作り」

Ź9

 $10:00 \sim 12:00$ 

長くてまっすぐな素晴らしいツルを採ってくれ 張り出すのは力仕事だが男性会員が一人参加、 など自然素材を探すのは難しいがそれもまた楽 11月5日の多摩川自然情報館でのイベントに こんなちょっとした作業でも器用で几帳 クズのツルを引っ 草むらの中から それぞれ 葉っぱ 第3緑地で保全活動を行って 原則毎月第2日曜に若葉町3丁目 12 11

面な性格の会員と、

その反対の会員、

のやり方が楽しい。

けて今後、

木の実やドライフラワー、

12/11(日)9:30~ 12:00。参加希望者は直接現地へ

(田) 9:30 ~ 12:00 (田) 9:30 ~ 12:00

Ĭ,

8

 $9:30 \sim 12:00$ 

O) 森3・

います。 11/6 12/4 1 会

第1・2緑地で保全活動を行って 原則毎月第1日曜に若葉町3丁目 1月の活動はお休みです。 参加希望者は直接現地 (田) 9:30~12:00 (田) 9:30~12:00 の会

## まで。 接集合。 1 12 11 山開きイベントもあります 14 10 12 $\widehat{\pm}$ $\widehat{\pm}$ $10:00 \sim 15:00$ の会

 $10:00 \sim 12:00$  $10:00 \sim 15:00$ 

動を行っています。奇数月は午後毎月第2土曜に自然広場で保全活 力二山 参加希望者は野草園横に の会 直

での

作業は楽

日に多摩川の河原 なに気持ちのい 色々大変だがこん

い

# 林の

参10 加月 624 名日

動を行っています。参加希望者は 1 12 11 15 18 20 接入間地域センター (田) 9:30~12:30 (田) 9:30 ~ 12:30

なるクズの採取。

リースの土台と

ントの準備

生調査&お楽しみ会

(田) 9:30~15:00

本日秋晴れ。

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランテ ィアで支えられていま す。2009.3.15 に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が自主 発行しています。調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動の記録、 環境イベント案内、コラムなどを掲載、無料で配布しています。

## 自然だより゛ の置き場所を募集中です。

- ◆地域福祉センター、たづくり 11Fみんなの広場、調布市環境部(市役所 8F)、あくろす 2・3 F、郷土博物館、実篤記念館、多摩川自然情報館のほか、 神代植物公園植物多様性センター、てらのサウルス (国領)、ニワコヤ (仙川)、 みさと屋(布田)など。 置き場所&応援カンパ募集中です!
- ◆会員募集! 年会費 1000 円 / サポーター会員 500 円 郵便振替(00150-9-765663 ちょう ちょうふ環境市民会議)

連絡先:info@chofu-kankyo-shimin.org ※携帯メールでのお問合せには当方の返信が届かない場合があります 発行:ちょうふ環境市民会議

いま

-ジにも掲載、バックナンバー ◆この自然だよりは ちょうふ環境市民会議ホームペ・ ·もご覧になれます。◀